



- 1 まちださん、ときわさん、ねぎさんと先生の〔会話文〕を読み、〔資料〕を見て、あとの(1)～(7)の各問いに答えましょう。

〔会話文1〕

先生 「夏休みはどうでしたか？ どこかに旅行に行きましたか？」

まちだ 「私は、<sup>おきなわ</sup>沖縄に行きました。」

ときわ 「私は、<sup>おがさわら</sup>小笠原諸島に行きました。」

ねぎし 「私は、<sup>はこね</sup>箱根に行きました。」

先生 「旅行は楽しかったですか？ 今日、観光について考えてみましょう。日本では2008年に観光庁が<sup>ほっそく</sup>発足して、訪日外国人旅行者を増やすことに力を入れてきました。〔資料1〕からわかるように、2012年以降は順調に訪日外国人旅行者が増加していました。」

まちだ 「2010年代には前年を下回る年もあったんだね。」

ときわ 「東日本<sup>だいしんざい</sup>大震災があったからだね。災害による<sup>えいきょう</sup>影響は大きいね。」

ねぎし 「2020年から21年にかけては、新型コロナウイルスが流行した影響で、訪日外国人旅行者の数は激減しているね。」

先生 「日本は、2022年の6月から外国人旅行者の受け入れを再開しました。〔資料2〕からわかるように①には、2019年の同じ月と比べて60%以上の水準まで回復しました。」

まちだ 「どこの国から旅行に来る外国人が多いのですか？」

先生 「では、②2022年の訪日外国人旅行者は、どの地域や国からの人が多かったのか予想してみましょう。」

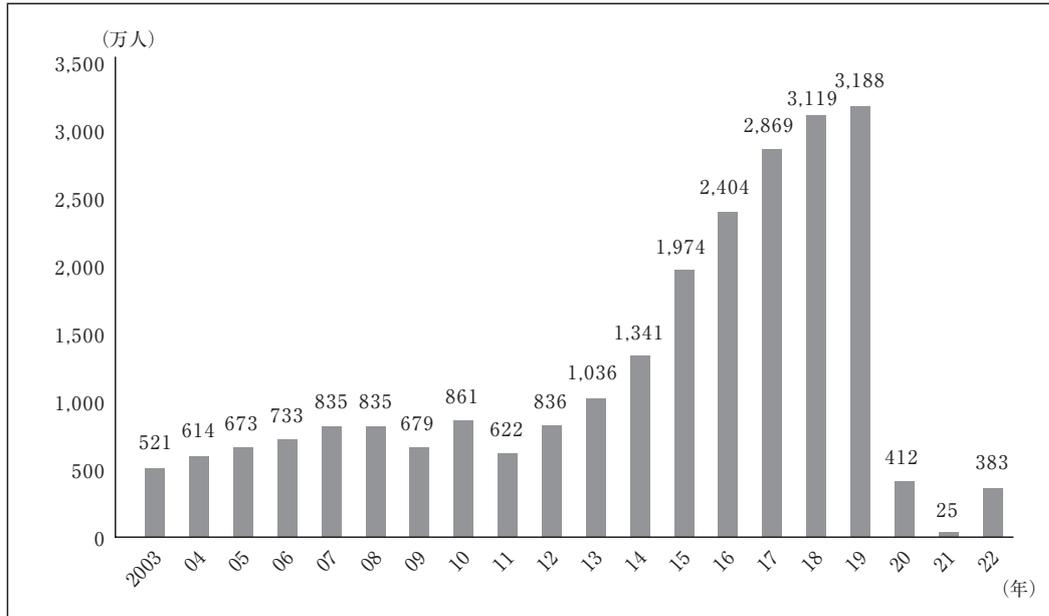
まちだ 「地域では、日本から近いアジアから来る人が最も多いと思います。」

ときわ 「国では、<sup>ほんこん</sup>香港をふくめた中国からの外国人旅行者が最も多いと思います。」

ねぎし 「アジア以外では、アメリカ合衆国から来る人が最も多いと思います。」

先生 「結果は〔資料3〕のようになっています。これからは、日本へ来る外国人旅行者の数はますます増えると思います。さらに海外からの外国人観光客を増やすためには、③日本へ来た外国人が感じた不安や困ったことを解消する必要があります。」

〔資料1〕 訪日外国人旅行者数の推移（年別）



（観光庁 『観光白書』 令和5年版より作成）

（1）〔会話文1〕と〔資料1〕を参考にして、次のア～エが正しければ○を、正しくなければ×をそれぞれ答えましょう。

ア 観光庁発足後、訪日外国人旅行者の数は、東日本大震災が発生した年と新型コロナウイルス発生が流行した2020年以降を除いて、すべて前年を上回っている。

イ 東日本大震災が発生した翌年には、東日本大震災が発生する前年の訪日外国人旅行者の数を上回った。

ウ 2019年には訪日外国人旅行者の数が初めて3000万人を超えた。

エ 2022年の訪日外国人旅行者の数は、2019年の10%を超えている。

(2) [資料2] を見て、[会話文1] の ① に入る年月を答えましょう。

[資料2] 訪日外国人旅行者数の推移 (月別)

	2019年	2022年	2023年
1月	2,689,339人	－	1,497,472人
2月	2,604,322人	－	1,475,455人
3月	2,760,136人	－	1,817,500人
4月	2,926,685人	－	1,949,100人
⋮	⋮	⋮	⋮
10月	2,496,568人	498,646人	－
11月	2,441,300人	934,599人	－
12月	2,526,400人	1,370,114人	－

(観光庁 『観光白書』 令和5年版より作成)

- (3) [会話文1] の下線部②に対する3人の生徒の予想と、[資料3] を比べて、予想が正しかった生徒を、すべて選びましょう。

[資料3] 訪日外国人旅行者の内訳 (2022年)

地域名	国名・地域名	訪日外国人旅行者数	訪日外国人旅行者数全体に対する割合
アジア	中国	18.9万人	4.9%
	<small>かんこく</small> 韓国	101.3万人	26.4%
	<small>たいわん</small> 台湾	33.1万人	8.6%
	香港	26.9万人	7.0%
	ベトナム	28.4万人	7.4%
	フィリピン	12.7万人	3.3%
	インドネシア	12.0万人	3.1%
	タイ	19.8万人	5.2%
	マレーシア	7.4万人	1.9%
	シンガポール	13.2万人	3.4%
	インド	5.4万人	1.4%
アメリカ大陸	アメリカ合衆国	32.4万人	8.4%
	カナダ	5.6万人	1.5%
	メキシコ	0.9万人	0.2%
ヨーロッパ	イギリス	5.7万人	1.5%
	フランス	5.3万人	1.4%
	ドイツ	4.6万人	1.2%
	イタリア	2.4万人	0.6%
	スペイン	1.6万人	0.4%
	ロシア	1.0万人	0.3%
オセアニア	オーストラリア	8.9万人	2.3%

※記載のない国・地域があります。

(観光庁 『観光白書』 令和5年版より作成)

- (4) [会話文1] の下線部③について、次の[資料4]は交番と郵便局を表す通常の地図記号と外国人旅行者向けの地図記号です。なぜ、新たな地図記号をつくったのか、あなたの考えを答えましょう。

[資料4] 通常の地図記号と外国人旅行者向けの地図記号

	通常の地図記号	外国人旅行者向けの地図記号
交番		
郵便局		

〔会話文2〕

ときわ 「まちださん、沖縄はどうだった？」

まちだ 「④私が行った沖縄では、多くの体験ができました。そういえば、ニューツーリズムという言葉を知りました。」

先生 「ニューツーリズムとは、見るだけでなく、体験したり、交流したりする旅行のことです。新型コロナが流行する以前から、観光地はニューツーリズムをすすめてきました。」

ねぎし 「⑤外国人旅行者が、日本での体験を楽しんでいるのをニュースで見たことがあります。」

先生 「体験することで、多くのことを学ぶことにもなります。」

まちだ 「沖縄でも歴史や自然から多くのことを学びました。世界遺産に認定されているものをたくさん見ることができました。」

ときわ 「私が行った小笠原諸島の南島も世界自然遺産に認定されていて、観光客数の制限や訪れてよい時期・時間など明確なルールが決められていました。」

先生 「それは、自然を守るための方法のひとつだからです。さらに、世界の環境問題や社会問題に取り組んでいます。日本各地の観光業でも持続可能な観光（サステナブルツーリズム）への取り組みがおこなわれています。」

ねぎし 「⑥私が行った箱根は、2022年に『世界の持続可能な観光地トップ100選』に選ばれたそうです。」

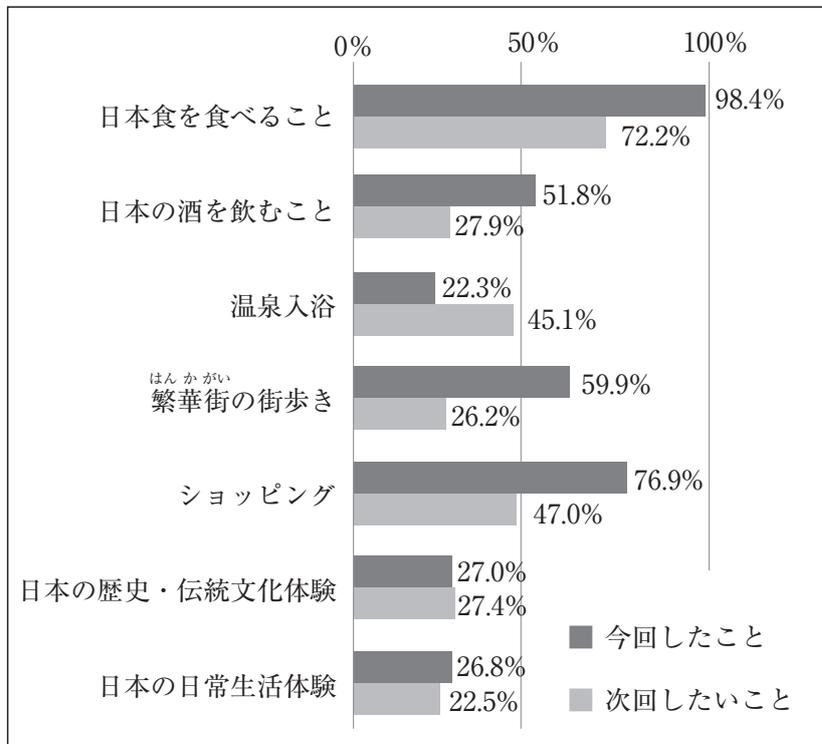
先生 「日本政府観光局が考える持続可能な観光とは、地域の文化・経済・環境を守り、育むことをかかっています。箱根は、町や宿泊施設・観光施設などが協力して、持続可能な観光を進めているのですね。」

(5) 〔会話文2〕の下線部④について、まちださんが行った沖縄旅行では次のような体験をしました。この中で、ニューツーリズムではないものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 沖縄の戦争体験者からの話を聞いて、地元住民と意見交換をした。
- イ カヤックに乗り、マングローブの林の中で生物を観察した。
- ウ 水族館で世界一大きなサメであるジンベエザメを見た。
- エ 沖縄伝統の魔よけであるシーサーを体験工房でつくった。

(6) 〔会話文2〕の下線部⑤について、次の〔資料5〕は訪日外国人旅行者の〈今回したこと〉と〈次回したいこと〉の調査結果です。この〔資料5〕を見て、正しくないものを次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

〔資料5〕 訪日外国人旅行者アンケート 〈今回したこと〉と〈次回したいこと〉



(観光庁 訪日外国人消費者動向 2022年 年次報告書より作成)

- ア 〈今回したこと〉と〈次回したいこと〉の第1位は、ともに「日本食を食べること」である。
- イ 「繁華街の街歩き」や「ショッピング」は、ともに〈今回したこと〉の割合に比べて、〈次回したいこと〉の割合は半分以下である。
- ウ 「日本の歴史・伝統文化体験」や「日本の日常生活体験」は、〈今回したこと〉の割合と〈次回したいこと〉の割合はすべて20%を超えている。
- エ 「温泉入浴」は、〈今回したこと〉の割合より〈次回したいこと〉の割合が2倍以上になっている。

- (7) 〔会話文2〕の下線部⑥について、次の〔資料6〕は、ねぎしさんの作文の一部です。ねぎしさんの作文から、箱根での持続可能な観光への取り組みを2つ挙げ、その取り組みが持続可能な観光にあたる理由を、100字以上150字以内で書きましょう。

〔資料6〕 ねぎしさんの作文の一部

私は夏休みに家族で箱根へ旅行に行きました。

箱根へは、電車で箱根湯本の駅まで行き、バスで芦ノ湖あしのこ近くまで行きました。

1日目は水族館で多くの魚を見たあとに、大涌谷おおわくだにというところで温泉たまごを食べました。

その日は日本建築の旅館とに泊まり、浴衣ゆかたも着ることができ、うれしかったです。温泉に3度も入りました。地元の人たちが教えてくれる工芸品もよおをつくる体験もよおの催しがおこなわれていたので、弟いっしょと一緒に参加して、小さな箱をつくりました。旅館は観光シーズンということもあり、多くの旅行客がいて、外国人旅行者も多く泊まっていました。従業員に外国人や外国語を話すことができる人が多いことにおどろきました。

食事はとてもおいしくて、地元の芦ノ湖で採れたワカサギや、周辺で採れた野菜を使った料理を食べました。また、森林の維持いじのために切らざるをえなかった木材でつくったお箸はしが出たことが印象に残りました。

2日目はハイキングをしました。途中とちゅう、他の観光客の方とすれちがったときに、火山や箱根の地形とくちようの特徴を説明しているガイドさんがいて、思わず私たちも聞いていました。しばらく歩いていると、登山道を補修しているボランティアの方もいました。

自宅へ帰る前に、箱根湯本の駅前のお土産屋みやげさんで、温泉まんじゅうやキーホルダーなどを買って帰りました。家族みんなで、楽しい旅行ができました。

2 中学1年生の遠足で、地図と測量の博物館に行ってきたクラスが、報告のための準備をしています。ようこそさん、たろうさん、先生との【会話文】を読み、【資料】を見て、あとの(1)～(7)の各問いに答えましょう。

【会話文1】

先生 「博物館で、印象に残っていることを中心に報告をまとめましょう。どんなことが印象に残っていますか？」

ようこ 「一番は、色々な時代や地域の地図があったことです。今では地図の上側を北にすることが一般的<sup>いっぽんてき</sup>だけど、そもそも方位の表し方も色々あって、おどろきました。」

先生 「では、方位の表し方の確認をしましょう。【資料1】が8方位、【資料2】が16方位ですね。」

たろう 「8方位をさらに細かく表したのが①16方位ですね。」

先生 「それと、日本の方位表記は十二支、つまり干支<sup>えと</sup>を使っていました。【資料3】と【資料4】を見てみましょう。」

ようこ 「干支は知っています。今年は辰年<sup>たつ</sup>ですね。」

先生 「そうです。日本では、十二支を用いて年と方位と時刻を表すことができます。」

たろう 「便利なようなむずかしいような。」

ようこ 「ちょっと待ってください。360度を12で分割<sup>ぶんかつ</sup>しているから、方角を表すときに、8方位や16方位とは異なる分け方になるのではないのでしょうか。」

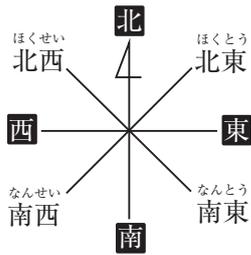
先生 「良いところに気づきましたね。【資料3】を見てみましょう。北北西は十二支の方位表記だと「う」の方位となりますね。ちなみに北西は、『いぬい』の方位と言います。」

たろう 「なるほど！ 「え」と「お」をつなげて読むと『いぬい』になりますね。」

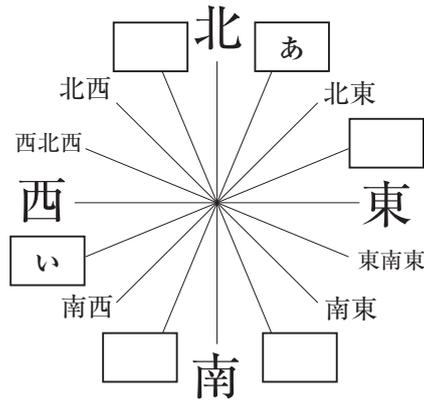
先生 「正解です。時刻は、24時間を12個の干支で表すので、1つの干支が約2時間となります。例えば、子<sup>ね</sup>の刻が23:00～1:00となり、丑<sup>うし</sup>の刻が1:00～3:00となります。ですから、②<sup>うま</sup>午の刻よりも前を午前、午の刻よりも後を午後と言うんですね。」

ようこ 「午前や午後の由来がわかりました。」

〔資料1〕 8方位



〔資料2〕 16方位



〔資料3〕 十二支による方位表記



〔資料4〕 十二支の動物とその読み方

十二支 (干支)	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
読み方	ね	うし	とら	う	たつ	み	うま	ひつじ	さる	とり	いぬ	い
動物	ねずみ	うし	とら	うさぎ	たつ	へび	うま	ひつじ	さる	とり	いぬ	いのしし

- (1) 〔会話文1〕の下線部①について、〔資料2〕の「あ」と「い」にあてはまる方位を漢字3文字で答えましょう。
- (2) 〔会話文1〕の「う」～「お」にあてはまる干支を、漢字で答えましょう。
- (3) 〔会話文1〕の下線部②について、午の刻が表す2時間を、〔会話文1〕を参考にし、24時間表記で答えましょう。

〔会話文2〕

先生 「その他に、博物館で印象に残っていることは何でしょうか？」

ようこ 「昔の人たちの地図や世界の考え方が今とちがっていたことです。」

たろう 「今の私たちが使っている地図や地球儀ちきゅうぎとはちがっていて、マンガやゲームの世界を見ているようでした。」

先生 「なるほど。みなさんはマンガやゲームに先に出会うから、そうなりますね。マンガやゲームが昔の人たちの地図や神話を参考につくられているのですけどね。」

ようこ 「あ、確かにそうですね。」

たろう 「昔の人の地図に動物や植物、そして神様が出てくるのがおもしろかったです。」

先生 「③世界がどうなっているのかを地図や絵で表したいと思ったのは、今と同じなのかもしれませんね。」

- (4) 〔会話文2〕の下線部③について、次の【説明文】はある地域の古代の人々が考えていた世界や地球に関するものです。【説明文】にあてはまる絵を、次のア～ウの中から1つ選び、記号で答えましょう。

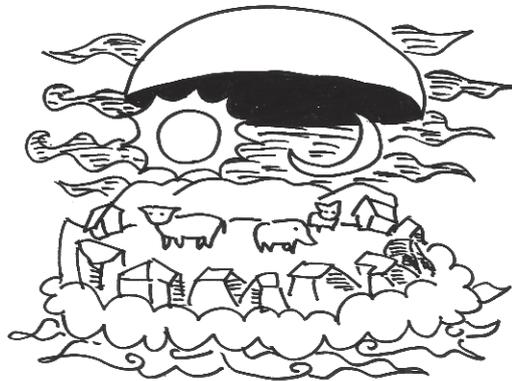
【説明文】

今から約5000年前の西アジアの人々は、海の上に大地がういていると考えていました。太陽や月は上空に位置し、大地には終わりがあり、その大地の上で人や動物が生活していると考えていました。

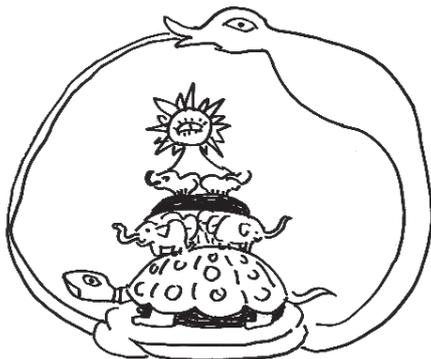
ア



イ



ウ



〔会話文3〕

たろう 「博物館では、100年前の関東大震災の特別展示がありました。被害の記録を当時の人たちがとても細かく地図に残していたことがわかりました。」

先生 「記録を残すことも、地図の大切な役割ですね。そして、地形や地盤の特徴から、その地域で想定される自然災害による被害をわかりやすくまとめたものを、ハザードマップと言います。見たことはありますか？」

ようこ 「はい。地域の防災訓練に参加したときに、配布されました。私の家の周りは想定される被害がなくて、安全でした。」

先生 「ハザードマップは、安全情報とは少しちがいます。例えば、東日本大震災の時に、想定をこえた津波が発生しました。ですから、④ことが大切です。」

ようこ 「わかりました。色々な地域の昔の災害記録も調べてみたいくなりました。」

先生 「昔の災害の記録を残しているものとしては、〔資料5〕の⑤自然災害伝承碑が参考になりますね。石できているもので、全国各地に残っています。」

たろう 「博物館にも説明があったのを覚えています。」

(5) 〔会話文3〕について、ハザードマップを使用する時に気をつけることや、考えなければならないことを、④にあてはまるかたちで答えましょう。

〔資料5〕



(国土地理院ホームページ 「関東大震災 中央区日本橋浜町2-58 新大橋橋詰」より)

- (6) 【会話文3】の下線部⑤について、【あ】～【う】はすべて関東大震災に関する自然災害伝承碑についての情報です。【会話文3】と【あ】～【う】を読み、自然災害伝承碑が建てられた目的について、伝承碑の情報に必ずふれて、書きましょう。

【あ】

名称	大震火災遭難者追悼碑
建てられた年	1924年
所在地	東京都中央区日本橋茅場町3-13 新亀島橋橋詰 ※人通りの多い亀島川にかかる橋の近くに位置している。
伝承内容	1923年9月1日午前11時58分に発生した関東大震災では、昼食を準備していた家庭の竈や七輪から火災が発生し、折からの強風によってたちまち延焼した。旧日本橋区全体の被害世帯数は、全壊家屋174、焼失家屋21,616、死者・行方不明者は1,189人におよんだ。犠牲者の9割近くが地震発生後の火災によるものであった。

【い】

名称	大正大震火災横死者の碑
建てられた年	1930年
所在地	東京都文京区湯島4-1-8 麟祥院 ※お寺のなかに位置している。
伝承内容	1923年9月1日午前11時58分、相模湾北部を震源としてマグニチュード7.9の大地震と大火災が発生した。旧本郷区（現在の文京区東部）では、地震の被害は下町より少なかったが、本郷南部と大学内の2ヵ所で火災が発生し、旧本郷区の死者・行方不明者の9割が焼死であった。

【う】

名称	復興碑
建てられた年	1927年
所在地	神奈川県藤沢市稲荷997 大庭神社 ※神社のなかに位置している。
伝承内容	大正12年（1923）9月1日午前11時58分に発生した関東大震災で地盤は裂け、家屋は倒壊し、山はくずれた。旧藤沢町は幸いにも火災はまぬがれたが、死傷者245名、家屋の倒壊3,240棟の被害を負った。

(国土地理院ホームページより作成)

〔会話文4〕

ようこ 「学校から駅までの地図をつくってみたいです。」

たろう 「まずは情報の整理ですね。学校は、駅の東に位置しています。そして、学校と駅の間に南北に走る2本の通りがあります。」

先生 「2本の通りとは、さくら通りといちょう通りのことですね。これらの通りには東西に走る大林通りと小林通りが交差していますね。」

ようこ 「東や西を気にして歩いたことがないからむずかしいですね。」

先生 「では最初に、学校から駅に向かう道順を考えながら確認しましょう。」

たろう 「えっと、まず学校の南側の門をでると小林通りです。小林通りをまっすぐ西に進み、1つ目の交差点で左折します。そのまま直進すると、左手に公園があるから、そこで右折すると、大林通りに出ますね。」

先生 「では、この道順をイメージしながら、地図をつくるのに必要な情報を考えてみましょう。」

ようこ 「わかりました。大林通りにお店が多いので、その情報も加えるとわかりやすいと思います。大林通りには、公園から進んでいくと、右手に花屋さんがあります。それから、通りにそって進んでいくと花さんの隣には、順番にパン屋さん、自転車屋さんが並んでいます。」

たろう 「それらのお店の通りをはさんだ向かい側には、大きなスーパーマーケットがあります。」

ようこ 「そして、さくら通りと大林通りの交差点には、自転車屋さんの西側の隣にある本屋さんが位置しています。地図で表すと、交差点の北東に位置していることになります。」

先生 「本屋さんのある交差点をどちらに進むと良いですか？」

たろう 「この交差点を西の方向に向かってわたり、直進すれば右手に駅があります。」

先生 「ここまでの情報をもとに実際をつくってみましょう。」

(7) 〔会話文4〕を参考にしながら、学校から駅までの地図を以下の1)～4)にしたがって、完成させましょう。

- 1) 地図の上側を北とすること。
- 2) 解答用紙にかかっている4本の通りの名前を、分かりやすく書くこと。
- 3) 学校と駅の位置をわかりやすく書くこと。
- 4) 〔会話文4〕中で波線のある店は、すべてそれらの位置をわかりやすく書くこと。



2

(1)

あ		い	
---	--	---	--

下の欄には  
記入しない

2

(1)

--

(2)

う		え	
お			

(2)

--

(3)

:	~	:
---	---	---

(3)

--

(4)

--

(4)

--

(5)

--

(5)

--

--

(6)

--

下の欄には  
記入しない

(6)

--

(7)

			通り
			通り
	通り		通り

(7)

--

--